

2026年1月の青森県の天候(速報)

令和8年2月4日
青森地方気象台

【特徴】

○大雪 ○低温

1 天候経過

全般 この期間、冬型の気圧配置となり、上空から強い寒気の流れ込んだ日が多かったため、津軽を中心に大雪となった。そのため月最深積雪の大きい方からの記録が、県内4地点で1月として1位を更新した。なお、弘前の降雪の深さ日合計46cm(1月30日)および野辺地の降雪の深さ月合計242cmは通年でも1位となった。また、月降水量の多い方からの記録が、県内11地点で1月として1位を更新した。

平均気温は、平年より低かった。降水量は、津軽と下北では平年よりかなり多いまたは多かった。三八上北では平年よりかなり多いまたは平年並だったが、少ない所もあった。日照時間は、津軽では平年よりかなり少ないと少なかった。下北と三八上北では平年より多いまたは平年並だが、かなり少ないと少なかった。降雪量は、平年よりかなり多いまたは多かったが、下北と三八上北では平年並や少ない所もあった。最深積雪は、平年よりかなり多かったが、下北と三八上北では平年並やかなり少ないと少なかった。

上旬 この期間、冬型の気圧配置となり、津軽を中心に雪や曇りの日が多かった。

平均気温は、平年より低かった。降水量は、津軽では平年よりかなり多いまたは多かった。下北では平年並だが少ない所もあった。三八上北では平年より多いまたは平年並だが、かなり多い所もあった。日照時間は、津軽と下北では平年より少ないと少なかった。降雪量は、津軽では平年より多くかなり多い所もあった。下北と三八上北では平年より少ないと少なかった。最深積雪は、津軽では平年より多かったが少ない所もあった。下北と三八上北では平年より少ないと少なかったが、かなり多い所もあった。

中旬 この期間、低気圧や前線が通過、冬型の気圧配置となり、津軽を中心に雪となる日が多かった。

平均気温は、平年並だった。降水量は、平年よりかなり多いまたは多かった。日照時間は、平年よりかなり少ないと少なかったが、下北と三八上北では多い所もあった。降雪量は、平年より多いまたは平年並だったが、三八上北ではかなり多い所もあった。最深積雪は、平年並または多かったが、津軽ではかなり多い所もあった。

下旬 この期間、冬型の気圧配置となり、津軽と下北を中心に雪となる日が多かった。

平均気温は、平年より低いまたはかなり低かった。降水量は、津軽と下北では平年よりかなり多いまたは多かった。三八上北では平年より少ないと少なかった。日照時間は、津軽と下北では平年並または平年より少なく、かなり少ないと少なかった。三八上北では平年よりかなり多いまたは多かった。降雪量は、津軽と下北では平年よりかなり多いまたは多かった。三八上北では平年より少ないと少なかったが、かなり多い所もあった。最深積雪は、津軽と下北では平年よりかなり多かった。三八上北では平年より多いまたは多かったが、少ない所もあった。

注意事項

この資料内のデータは、現時点での速報値です。後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

本資料に掲載されている観測値は、断り書きがない限り、青森は気象官署、深浦・むつ・八戸は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所(アメダス)の観測値を使用しています。

観測所一覧表、観測所配置図、平年値等を必要とされる方は、青森地方気象台ホームページをご覧になるか、または当台担当者までお問い合わせください。

なお、本資料の著作権は青森地方気象台が有します。掲載されているデータや図表を利用する場合は、「青森地方気象台の資料に拠った」旨記載してください。

2 極値・順位の更新等 1月

(1) 官署及び特別地域気象観測所(青森・深浦・むつ・八戸):1月として3位まで記載

要素名	地点名	観測値	順位	起日	従来の極値	観測年	起日	統計開始年
日最大1時間降水量 (mm)	深浦	17.5	1	10	16.0	2014	28	1940
月最大24時間降水量 (mm)	深浦	56.0	2	10	66.5	1973	2	1953
日降水量(mm)	深浦	54.0	3	10	57.5	1973	2	1940
月降水量の多い方から (mm)	深浦	252.0	1	—	204.0	2005	—	1940
	青森	313.5	1	—	296.3	1922	—	1882
月間日照時間の少な い方から(h)	深浦	10.4	3	—	7.1	1948	—	1940
月最深積雪の大きい 方から(cm)	深浦	88	1	30	78]	2006	24	1940
	青森	167	2	30	193	1945	30	1894
降雪の深さ月合計 (cm)	深浦	180	2	—	210	1963	—	1953

※"値]"は資料不足値で、平年差(比)及び階級区分は求めない。"—"は現象がない。

(2) 地域気象観測所(青森・深浦・むつ・八戸を除く):1月として1位を記載 (統計期間 10 年以上)

要素名	地点名	観測値	順位	起日	従来の極値	観測年	起日	統計開始年
日最大10分間降水量 (mm)	大間	3.5	1	30	3.0	2024	2	2009
	鰺ヶ沢	4.0	1	30	3.5	2022	19	2009
	弘前	2.0	1	7	2.0	2021	7	2009
	酸ヶ湯	1.5	1	7	1.5	2025	25	2009
	温川	2.0	1	13	2.0	2014	30	2009
	十和田	2.0	1	7	1.5	2020	29	2009
	碇ヶ関	2.5	1	7	2.0	2022	9	2009
	休屋	2.5	1	10	2.0	2021	16	2009
	戸来	1.5	1	10	1.5	2016	18	2009
日最大1時間降水量 (mm)	大鰐	6.5	1	10	6.5	2022	9	2011
日降水量(mm)	五所川原	30.0	1	28	30.0	2022	27	1977
	岳	32.5	1	28	32	2000	14	1980
	弘前	36.0	1	30	33	2005	3	1976

月降水量の多い方から (mm)	湯野川	253.5	1	—	240.5	2010	—	2007
	蟹田	182.5	1	—	182	2005	—	1977
	五所川原	280.5	1	—	243	2005	—	1977
	野辺地	177.0	1	—	153.5	2020	—	2009
	鰯ヶ沢	270.0	1	—	211	2005	—	1977
	岳	393.5	1	—	271	2000	—	1980
	酸ヶ湯	304.5	1	—	226]	1987	—	1980
	大鰐	212.0	1	—	126.5	2025	—	2011
	休屋	169.0	1	—	156.5	2024	—	1983
日最大瞬間風速・風向(m/s)	青森大谷	西南西 29.3	1	13	西南西 24.2	2018	10	2009
月最深積雪の大きい方から(cm)	鰯ヶ沢	93	1	30	89	1984	30	1984
	弘前	148	1	30	126	2025	17	1983
	酸ヶ湯	487	1	28	438	2025	17	1980
降雪の深さ日合計(cm)	野辺地	44	1	1	36	2023	28	2009
	弘前	46	1	30	40	2010	1	1983
降雪の深さ月合計(cm)	野辺地	242	1	—	163	2011	—	2009

※"値]"は資料不足値で、平年差(比)及び階級区分は求めない。"—"は現象がない。

地域気象観測所の降水量の最小単位は2008年3月25日まで1mm単位(2008年3月26日から0.5mm)

(3) 降雪量・最深積雪

地点	降雪の深さ月合計(cm)			月最深積雪(cm)		
	本年	平年値	平年比(%)	本年	平年値	平年比(%)
大間	50	65	77	32	15	213
むつ	157	121	130	48	43	112
今別	215	163	132	107	63	170
脇野沢	238	180	132	96	54	178
五所川原	275	186	148	135	66	205
青森	398	195	204	167	83	201
野辺地	242	116	209	97	42	231
鰯ヶ沢	219	140	156	93	44	211
青森大谷	390	//	//	176	//	//
深浦	180	80	225	88	27	326
弘前	322	221	146	148	67	221
酸ヶ湯	572	454	126	487	316	154
十和田	69	125	55	17	34	50
八戸	59	40	148	16	15	107
碇ヶ関	235)	192	122	119)	72	165

三戸	102	111	92	36	32	113
----	-----	-----	----	----	----	-----

”値) ”は準正常値で、データの一部に欠測がある。”//”は該当する値がない。

3 日々の気圧配置 1月

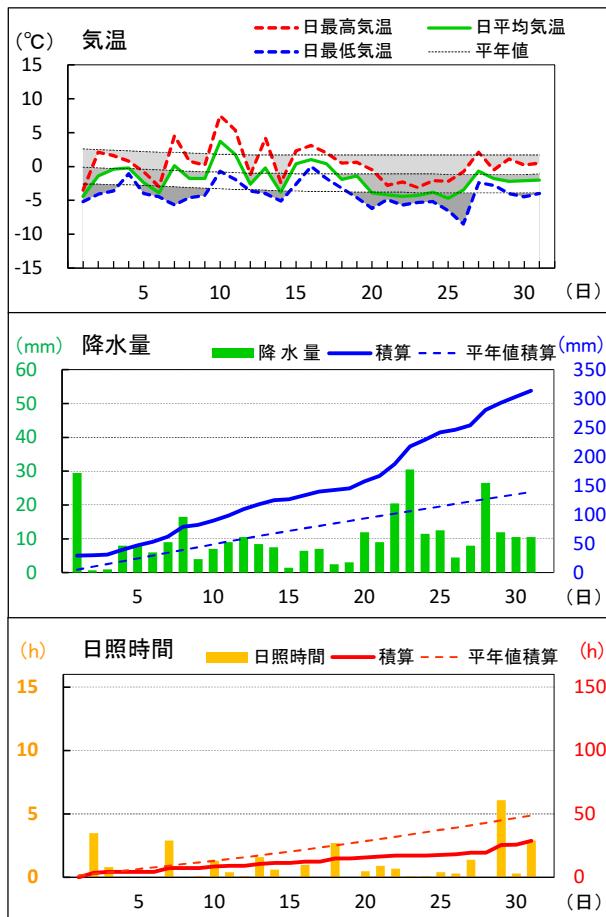
- 1日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
2日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
3日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
4日：北日本は、冬型の気圧配置が続く。
5日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
6日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
7日：東北地方は、日本の東にある高気圧に覆われる。一方、日本海にある低気圧が北東へ進む。
8日：低気圧がオホーツク海にあって、日本付近は冬型の気圧配置となる。
9日：北日本は、冬型の気圧配置が続く。
10日：日本海にある低気圧が北東へ進み、東シナ海に前線がのびる。
- 11日：サハリン付近にある低気圧からのびる前線が、東北地方を通過し、日本付近は強い冬型の気圧配置となる。
12日：北日本は、冬型の気圧配置が続く。
13日：低気圧が日本海から北海道付近に進み、そこからのびる前線が東北地方を通過する。
14日：オホーツク海にある低気圧が発達し、北日本は冬型の気圧配置となる。
15日：日本海にある低気圧が東へ進み、そこから前線が東北地方にのびる。
16日：前線を伴った低気圧が三陸沖にあり、北日本は冬型の気圧配置となる。
17日：日本海にある低気圧が、東北地方を通過して三陸沖に進み、冬型の気圧配置となる。
18日：日本海にある高気圧に覆われ、冬型の気圧配置が緩む。
19日：日本海にある低気圧が東へ進み、そこから前線が東北地方にのびる。
20日：日本の東にある低気圧が、発達しながら北東へ進み、日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 21日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
22日：日本付近は、強い冬型の気圧配置が続く。
23日：日本付近は、強い冬型の気圧配置が続く。
24日：日本付近は、強い冬型の気圧配置が続く。
25日：日本付近は、強い冬型の気圧配置が続く。
26日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
27日：日本海にある低気圧が、東北地方を通過して三陸沖に進む。
28日：日本の東に低気圧があり、日本付近は冬型の気圧配置となる。
29日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。
30日：日本付近は、強い冬型の気圧配置が続く。
31日：日本付近は、冬型の気圧配置が続く。

4 青森の天気概況 1月

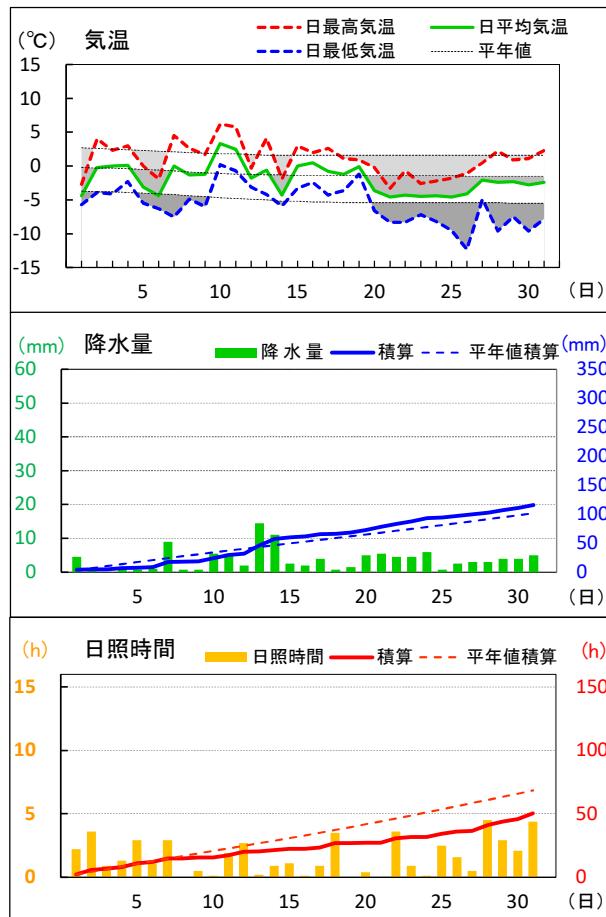
日付	06時～18時	18時～翌06時
1日	大雪	雪
2日	晴後曇時々雪	晴時々曇後雪
3日	曇時々雪	雪時々曇、みぞれを伴う
4日	雪後一時みぞれ一時曇	雪
5日	雪	雪
6日	雪後一時晴	雪後時々曇
7日	曇時々晴一時雨、みぞれを伴う	みぞれ一時雨
8日	雪	雪時々曇
9日	雪	晴一時曇後みぞれ時々雪
10日	曇時々みぞれ一時晴後雨	雨時々曇、みぞれを伴う
11日	みぞれ時々雨後雪、雷を伴う	雪
12日	雪	雪時々曇一時晴
13日	雪一時曇後みぞれ時々雨	雪
14日	雪時々曇	雪時々曇
15日	雪後みぞれ	曇一時晴後みぞれ
16日	みぞれ後一時雪	雪時々曇
17日	みぞれ時々雪	雪一時晴後一時曇
18日	雪時々曇一時晴	雪後晴時々曇
19日	雪時々曇、みぞれを伴う	雪時々曇、みぞれを伴う
20日	雪時々曇	雪後時々曇
21日	雪時々曇	雪後時々曇
22日	雪時々曇	大雪時々曇
23日	雪	雪一時晴
24日	雪	雪
25日	雪時々曇	雪後時々霧一時晴
26日	雪時々曇一時晴	雪時々曇
27日	雪時々曇一時晴、みぞれを伴う	雪
28日	雪	雪
29日	雪時々曇一時晴	雪後一時晴
30日	雪時々晴後曇	雪時々曇一時晴
31日	雪時々曇一時晴	雪時々曇

5 気象経過図 1月

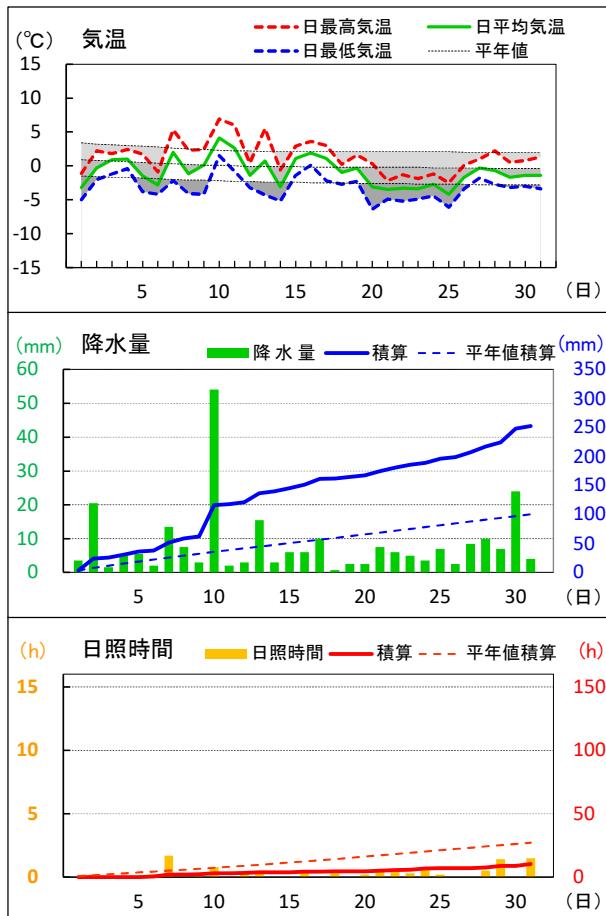
青森



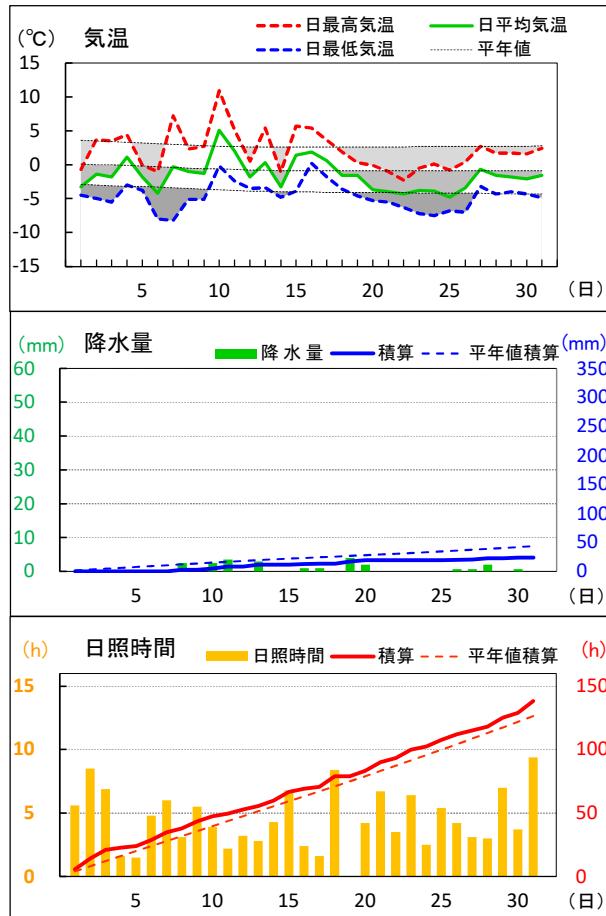
むつ



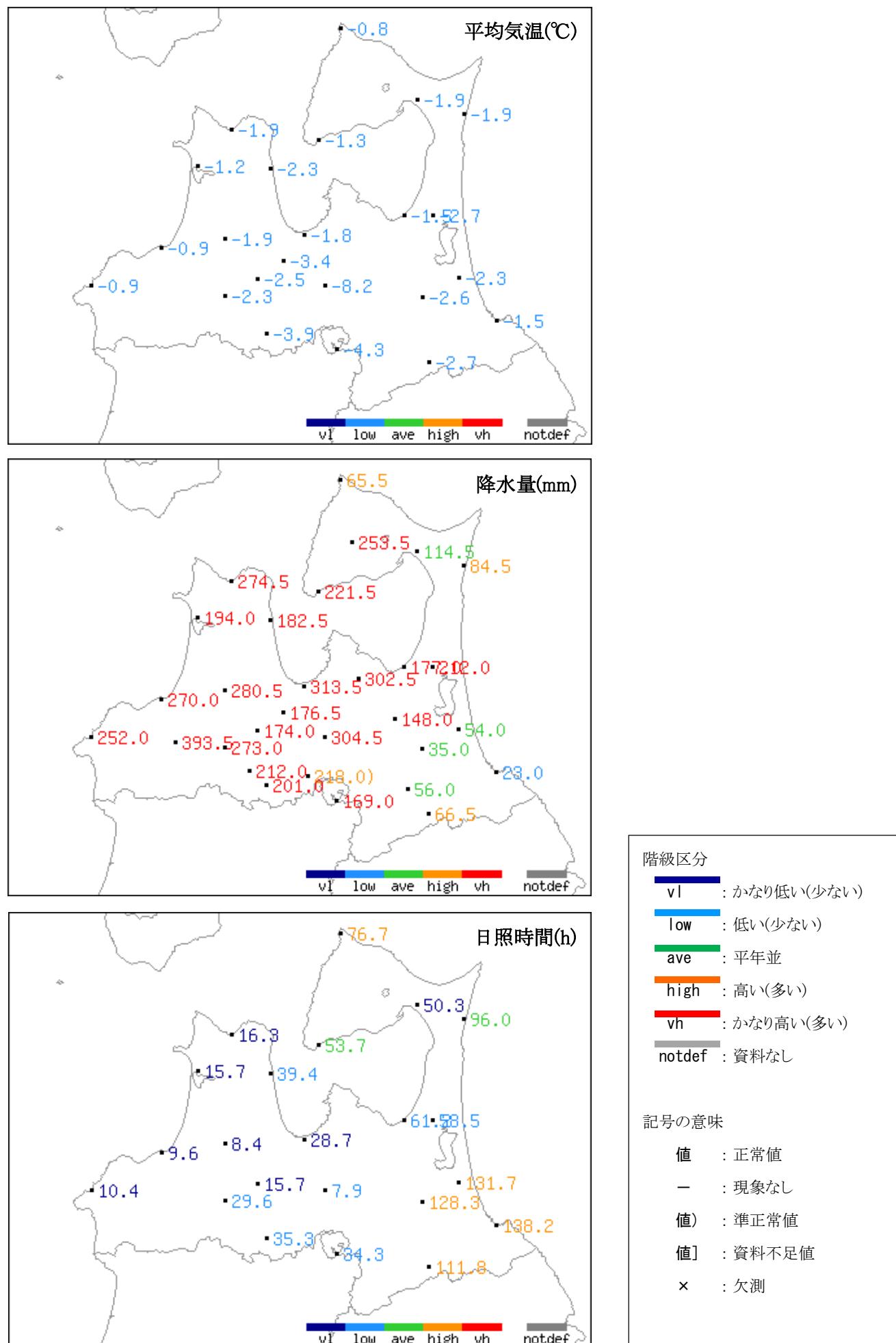
深浦



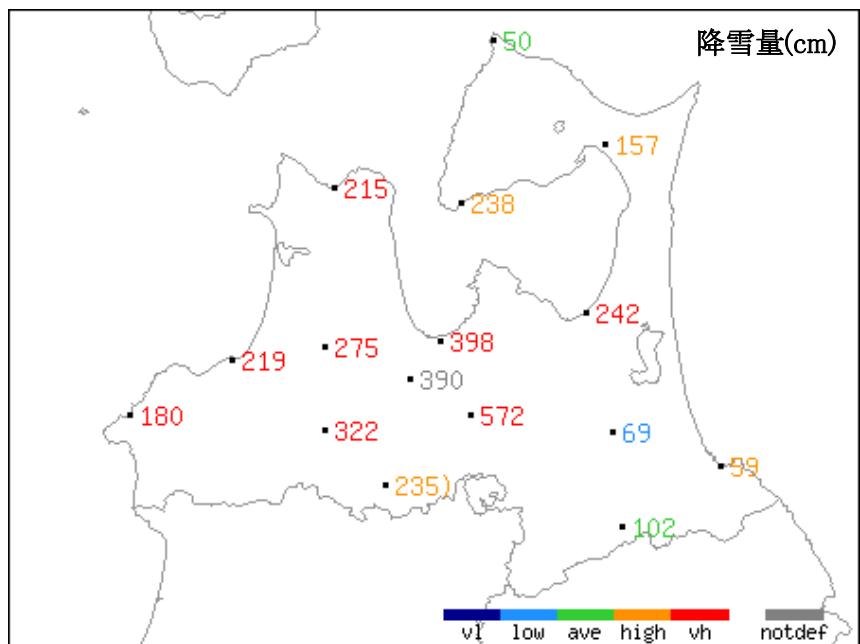
八戸



6 気象分布図(平均気温・降水量・日照時間) 1月



気象分布図(降雪量・最深積雪) 1月

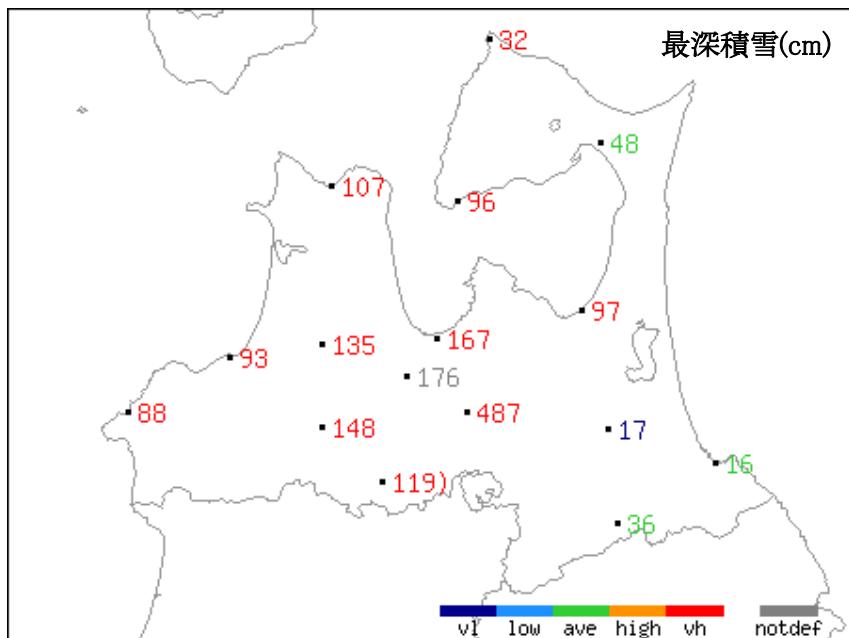


階級区分

vl	: かなり低い(少ない)
low	: 低い(少ない)
ave	: 平年並
high	: 高い(多い)
vh	: かなり高い(多い)
notdef	: 資料なし

記号の意味

値	: 正常値
—	: 現象なし
値)	: 準正常値
値]	: 資料不足値
×	: 欠測



観測所		要素	平均気温(値°C、平年差°C)				降水量(値mm、平年比%)				日照時間(値h、平年比%)			
			期間	上旬	中旬	下旬	月	上旬	中旬	下旬	月	上旬	中旬	下旬
気象官署	青森	本年	-1.2	-1.0	-3.1	-1.8	89.5	68.0	156.0	313.5	8.6	6.9	13.2	28.7
		平年	-0.4	-1.1	-1.2	-0.9	50.1	44.1	45.7	139.9	12.6	15.8	20.1	48.5
		平年差(比)	-0.8	+0.1	-1.9	-0.9	179	154	341	224	68	44	66	59
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	かなり多い	多い	かなり多い	かなり多い	少ない	少ない	少ない	かなり少ない
特別地域気象観測所	深浦	本年	-0.1	-0.1	-2.2	-0.9	116.0	51.0	85.0	252.0	3.1	1.6	5.7	10.4
		平年	0.5	-0.2	-0.3	0.0	36.5	29.1	34.7	100.3	6.6	9.3	9.9	25.4
		平年差(比)	-0.6	+0.1	-1.9	-0.9	318	175	245	251	47	17	58	41
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	少ない	かなり少ない	少ない	かなり少ない
	むつ	本年	-1.1	-0.9	-3.5	-1.9	23.5	48.5	42.5	114.5	15.5	11.7	23.1	50.3
		平年	-0.5	-1.5	-1.5	-1.2	36.6	29.6	36.0	102.2	20.6	20.6	26.5	67.7
		平年差(比)	-0.6	+0.6	-2.0	-0.7	64	164	118	112	75	57	87	74
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	平年並	多い	多い	平年並	少ない	かなり少ない	少ない	かなり少ない
	八戸	本年	-0.9	-0.6	-2.9	-1.5	5.0	14.5	3.5	23.0	47.4	35.9	54.9	138.2
		平年	-0.2	-0.9	-0.9	-0.7	16.0	11.8	15.8	43.6	39.1	39.6	47.7	126.1
		平年差(比)	-0.7	+0.3	-2.0	-0.8	31	123	22	53	121	91	115	110
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	平年並	多い	平年並	少ない	多い	少ない	かなり多い	多い
地域気象観測所	五所川原	本年	-1.3	-1.1	-3.2	-1.9	73.0	59.0	148.5	280.5	2.8	1.7	3.9	8.4
		平年	-0.5	-1.3	-1.4	-1.1	41.6	38.2	40.1	120.7	5.7	8.2	8.8	22.7
		平年差(比)	-0.8	+0.2	-1.8	-0.8	175	154	370	232	49	21	44	37
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	少ない	かなり少ない	少ない	かなり少ない
	弘前	本年	-1.8	-1.5	-3.6	-2.3	96.5	71.5	105.0	273.0	6.5	4.8	18.3	29.6
		平年	-1.0	-1.7	-1.8	-1.5	43.8	36.5	45.2	125.5	11.4	14.7	18.1	44.3
		平年差(比)	-0.8	+0.2	-1.8	-0.8	220	196	232	218	57	33	101	67
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	かなり多い	少ない	かなり少ない	平年並	少ない
	黒石	本年	-1.8	-1.7	-3.9	-2.5	80.0	27.5	66.5	174.0	2.9	1.5	11.3	15.7
		平年	-1.2	-2.0	-2.2	-1.8	30.5	24.0	27.6	82.1	9.5	13.2	14.9	37.6
		平年差(比)	-0.6	+0.3	-1.7	-0.7	262	115	241	212	31	11	76	42
		階級区分	低い	平年並	低い	低い	かなり多い	平年並	かなり多い	かなり多い	かなり少ない	かなり少ない	平年並	かなり少ない
	三沢	本年	-1.7	-1.5	-3.7	-2.3	10.0	35.5	8.5	54.0	44.3	35.6	51.8	131.7
		平年	-0.6	-1.4	-1.3	-1.1	18.6	15.7	17.4	51.7	37.0	37.4	45.2	119.0
		平年差(比)	-1.1	-0.1	-2.4	-1.2	54	226	49	104	120	95	115	111
		階級区分	低い	平年並	かなり低い	低い	平年並	かなり多い	少ない	平年並	多い	平年並	多い	多い
	十和田	本年	-1.8	-1.5	-4.4	-2.6	11.5	16.0	7.5	35.0	40.5	37.6	50.2	128.3
		平年	-1.2	-2.0	-2.1	-1.7	13.4	10.7	13.8	37.8	36.0	35.2	44.2	115.4
		平年差(比)	-0.6	+0.5	-2.3	-0.9	86	150	54	93	113	107	114	111
		階級区分	低い	平年並	かなり低い	低い	平年並	多い	平年並	平年並	多い	多い	多い	多い

※ "値"は準正常値で、データの一部に欠測がある。"値]"は資料不足値で、平年差(比)及び階級区分は求めない。"--"は現象がない。